

白峰小から2つの報告です！

1. 「読書の日」の取り組み ブックトークカード

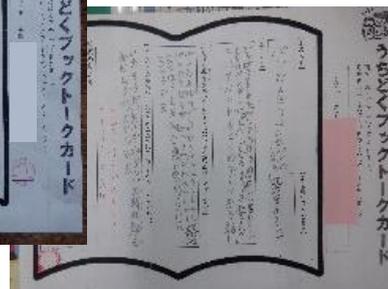
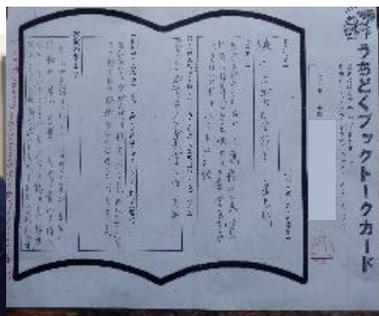
言語活動の活性化を図り、「読む」「書く」「話す」「聞く」力をつけるための手だてとして実施。

- ① 毎月23日に近い金曜日に「うちどくブックトークカード」の宿題を出す。
- ② 翌月曜日の朝学習の時間に、カードをもとにクラスで一人ずつ全員が発表する。
- ③ 発表者以外の児童は、その内容に対して質問や意見を言う。

- ・カードには、「書名」「著者名」「あらすじ（中、高学年のみ）」「一番興味を持ったところ、心に残った場面やことばなど」「自分がその場面や言葉を選んだ理由や自分の思い」「お家の方より」の記入欄がある。

先生より

- ・友だちが紹介した本を手にとることが増えました。自分から興味を抱きにくい本も友だちのおかげで読み始め、読書の幅が広がりました。
- ・本に触れる機会が増え、いつもはあまり読まない本も読むようになったと思います。



2. 学校図書館支援センターの利用

白峰小学校がある白峰・桑島地区は白山市の山麓地区にある児童数17名の小さな学校です。この地区は書店がなく、一番近い市立図書館からも約29kmという距離にあり、とても本を身近に感じる環境ではありません。毎月2回市立図書館の移動図書館のびのび号がやってきますが、冬季（1、2月）は雪が多いため運休となります。

そこで役立っているのが支援センターの存在です。市立図書館の資料の借り受けや市内各校の相互貸借が支援センターを中心に行われ、学習やクラスでの利用にはもちろんのこと、子どもたち個人の資料依頼にも応えてもらえます。現在も児童から「テレビで紹介していた本が読みたいんですけど…」と依頼があったシリーズを借り受け中で、「本当に届いたんや！」ととても喜んで読んでいます。

山奥にある小さな学校でも、子どもたちの「読みたい」「調べたい」気持ちは町の大きな学校と同じです。「気になる本があるけど、どうせ無理」とあきらめるのではなく、「学校の図書館で相談すれば何とかできる」があたりまえであるために、支援センターの存在はとても心強いです。



今年度の司書部会グループ研究報告

【小学校部会 研究テーマ：国語科の教科書に沿った利用指導ツールの作成】

今年度小学校部会では3～6年を対象に、先生から依頼のあった指導や必要性の高いものを優先し、利用指導のテーマごとに研究をしました。

【中学校部会 研究テーマ：情報教育と連携した図書館活用】

情報教育と連携した図書館の活用（図書とGIGA端末の共存）について新国語教科書での情報をまとめ、「情報教育と連携した図書館活用のために」（プレゼン資料）を作成しました。



3年 知りたい情報を本の中から見つける

小学校3年生グループ

知りたいことを、本の中から見つけるにはどうしたらいい?

国語下P.50 情報「調べるときに使う 科学読み物の調べ方」

<教材の概要>

「すがたをかえる大豆」(読むこと)の学習後「食べもののみつてを教えます」(書くこと)で様々な食べ物の変身の様子について説明する文章を書く複合単元。この二つの間に「科学読み物の調べ方」では、「目次」「さくいん」などを使い、本から効率よく必要な情報を抜き出す「調べ方」の基礎知識を学習する。

1. 身につけて活用できるようになってほしいこと

- ①「目次」「さくいん」などを使い、知りたいことを本の中から効率よく見つけられること
- ②奥付を見て出典を書けること

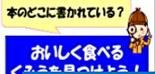


図や写真に説明が付記されたこのシリーズを主として使用している学校が多いと思われるので、今回はこの本を使う際の調べ方の指導に限定した。

2. 作成物

- ・パワーポイント
- ・ふろカード
- ・ワークシート

(情報の取り出し・出典)



5年 図書館を使いこなそう

小学校部会 5年:本は友達「図書館を使いこなそう」グループ報告

2022.1.28

1. 教材の概要

- 時期・時数:4月中旬 1時間[知・技①]
- 指導目標:日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げること役立つことに気づくことができる。(知(3)オ)
- 指導計画例
 - ①本の分類のしかたを理解する。
 - ②本を探し、分かったことをカードに記録する。
- 評価
 - [知] 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げること役立つことに気づいている。(3)オ
 - [総]積極的に、学校図書館の仕組みを知って読書に親しみ、学習課題に沿って、本を探し、記録カードに書くことができる。

2. 作成物と留意点

- パワーポイント
 - ・説明は教科書の流れや文意に添って作成(分類説明:7分 ワークシートの進め方:5分)
 - ・使いやすいように教科書の参考部分や説明の時のポイントなどをノートに記録

ほぼ教科書どおりに作りましたが、分類表の表記は日本十進分類法第1次区分表に変更するなど、わかりやすくしました。



本を探し、調べたことを書くという活動の流れが、押さえられるように記載例と流れがわかるシートをパワーポイントの最後につけました。このシートを活動中にずっとつけたままにしておくとわかりやすいです。

○シナリオ

①分類のしくみの説明

6年 調べた情報の用い方

R3(2021)年度小学校グループ研究 6年「調べた情報の用い方」利用指導 まとめ

教材の概要

『鳥獣戯画』を読む単元で「魅力を伝える視点や表現」を学習した後、「日本文化を発信しよう」で日本文化の魅力をもとめたパンフレットを作成する複合単元である。二つの単元の間に「調べた情報の用い方」として、「引用」「奥付」「著作権」の3点を指導する「情報」教材。

指導書の記述(抜粋)

- ・児童には、著作権を尊重し保護するために必要なことを理解させ、指導にあたっては十分留意することが求められる。そのために引用や出典についての理解が欠かせない。
- ・なお、文章の表現や情報に限定らず、図表やグラフ、絵や写真なども含むことに留意する必要がある。
- ・また、インターネットによる資料では「サイト名」や「URL」などを示すことも意識させたい。インターネットでの情報が確かなものなのかを判断する力も養ってほしい。

教師用教科書の記述

- ・「あなたの作品も、著作物です」適切に引用し、出典を示す場合を除いて、著作物を使うときには、作った人の許可が必要ですが」も亦傍線。

パワーポイントの作成について

調べた活動に入る前に利用指導することを想定し、記録カードに記載するところからスタートし、教科書の流れに沿って、「引用」「奥付」「著作権」の順に説明。既習事項は学習した学年の教科書を提示し、思い起こさせるようにした。教科書には記載がないが、指導書に記載されていたインターネットによる資料活用の際の留意点も入れた。

実践報告

パンフレットにまとめるということで、キャッチコピー的に言葉を使用することが想定されたため、「引用」についてはさっと触れる程度にした。タブレットも併用するため、インターネットで調べた際の留意点に重点を置いて説明した。写真をコピーすることも多いと思われるので、写真等を使う際に留意する必要があることもスライドを加えて説明した。

成果と課題

△6年生は既習事項ほとんどであり、この単元で利用指導をする際には授業者のめあてに沿うように、スライドを削除したり、内容を追加したりした。

ここに掲載したのは一部です。詳しくは学校司書にお問い合わせください。

4年 テーマ決め、情報の整理・組立

2021年度小学校グループ研究

2022.2.10

4年 「もしものときにそなえよう」 テーマ決め

4年国語「もしものときにそなえよう」は、参考資料からメモを取り、自分の必要な情報から自分の考えを持ち、それを文章にして書く、という単元である。ここで図書館教育として押さえておきたいことは、**テーマの作り方**である。よりよいテーマであれば、調べることや自分の考えを持つことも容易にできる。この単元では、イメージマップを用いてテーマ作りを行った。またこの単元に必要な引用、出典(3,4年時学習)も、もう一度確認している。なお、作成するにあたり、「小学国語学習指導書」「小学国語指導事例集」(光村教育図書)を参考にすることで、この単元が何を意識させ、どんな指導が必要かを確認することができた。

テーマ決め

出来るだけ既習を活用することを踏まえると、「課題の見つけ方、調べ方」(4年上132P)でまず「大きな課題を考えてから、その課題について知っていることを書き出す」がある。



方として、**イメージマップ**を提案した。教科書にテーマの、そのまま書き入れる。

りまでは問いひかないので、問いを手掛かりとして、「知りたいことの見つけ方」(3年上134,135P)をもとに、「どのような」「いつ」「どこで」を付加することで問いを学習する。



5年 固有種が教えてくれること

2021年度 小学校グループ研究 5年「固有種が教えてくれること」グループ

2022.1.28

5年「固有種が教えてくれること」の単元では、「グラフや表を用いて書く」として、統計資料をもとに自分の意見を書くことが求められる。そこで、統計資料の代表である年鑑の利用指導を決定し、また参考になりそうな統計資料に掲載されている本・サイトをリストとしてまとめた。

☆年鑑利用指導…『朝日ジュニア学習年鑑』を使用

- <ねらい>
 - ・年鑑のしくみや使い方を知る
 - ・統計資料の読み取り方を知る
- <作成物>
 - ・利用指導全体の流れ(タイムテーブル)
 - ・ワークシート
 - ・パワーポイント

*従来の「参考資料の使い方」にとどまらず、「統計資料の読み取り方」も取り入れ、今後の学習の発展へつなげられるようにした。

ステップ1 年鑑とは?

- ・年鑑の特長やくみ、何を調べられるのか
- ・クイズ:「朝日ジュニア学習年鑑で調べられるもの」ををつけよう → 実は全部調べられる

ステップ2 年鑑を使ってみよう

- ・目次・索引を使用する
- ・目次は大項目→中項目→小項目 と絞る

| 項目 | 年鑑 | 年鑑 | 年鑑 |
|----|--------------|--------------|--------------|
| 1 | 『朝日ジュニア学習年鑑』 | 『朝日ジュニア学習年鑑』 | 『朝日ジュニア学習年鑑』 |
| 2 | 『朝日ジュニア学習年鑑』 | 『朝日ジュニア学習年鑑』 | 『朝日ジュニア学習年鑑』 |
| 3 | 『朝日ジュニア学習年鑑』 | 『朝日ジュニア学習年鑑』 | 『朝日ジュニア学習年鑑』 |
| 4 | 『朝日ジュニア学習年鑑』 | 『朝日ジュニア学習年鑑』 | 『朝日ジュニア学習年鑑』 |
| 5 | 『朝日ジュニア学習年鑑』 | 『朝日ジュニア学習年鑑』 | 『朝日ジュニア学習年鑑』 |
| 6 | 『朝日ジュニア学習年鑑』 | 『朝日ジュニア学習年鑑』 | 『朝日ジュニア学習年鑑』 |
| 7 | 『朝日ジュニア学習年鑑』 | 『朝日ジュニア学習年鑑』 | 『朝日ジュニア学習年鑑』 |
| 8 | 『朝日ジュニア学習年鑑』 | 『朝日ジュニア学習年鑑』 | 『朝日ジュニア学習年鑑』 |
| 9 | 『朝日ジュニア学習年鑑』 | 『朝日ジュニア学習年鑑』 | 『朝日ジュニア学習年鑑』 |
| 10 | 『朝日ジュニア学習年鑑』 | 『朝日ジュニア学習年鑑』 | 『朝日ジュニア学習年鑑』 |

| 項目 | 調べられるもの? |
|-------|----------------------------------|
| 目的の人口 | <input checked="" type="radio"/> |
| 目的の職業 | <input checked="" type="radio"/> |
| 職業の種類 | <input checked="" type="radio"/> |
| 職業の人数 | <input checked="" type="radio"/> |

| 項目 | 調べられるもの? |
|-------|----------------------------------|
| 職業の種類 | <input checked="" type="radio"/> |
| 職業の人数 | <input checked="" type="radio"/> |

中学校 「情報教育と連携した図書館活用のために」(プレゼン資料)

情報教育と連携した図書館活用のために

2021年度 中学校グループ研究

- 1章 はじめに
- 2章 情報取扱いについての疑問をICTリテラシーさんに聞いてみた
- 3章 改めて実践してみた
- 4章 又実践に向けて

インターネット

インターネットとは、世界中のコンピュータがネットワークでつながり、情報をやり取りできる状態のことです。

〈授業展開〉

- OK(著作権者の明記が必要)・クラスでの授業、総合学習、学校行事、ゼミ、実習・実習・実習、出席や単位取得が必要なクラブ活動、学校の教育計画に基づいて行われる部活動、林間学校、生徒指導、進路指導
- NG:議員会議、初任者研修、サークルや同好会、研究会、入家内・総会、模擬試験教材など、学校の教育計画に基づかない自主的な活動

第1章 はじめに

インターネットと本の特性をまとめてみた

第2章 情報取扱いについての疑問をICTリテラシーさんに聞いてみた

Q1 授業目的の公衆送信補償金制度ってなに?

本

本は、紙や布、プラスチックなどででき、文字や図表、写真などを印刷して、読むことができる。

〈著作物の利用範囲〉

- 必要と認められる場合は、授業担当者判断による。
- 短文、新聞記事、写真や絵画などは、全部を複製できる可能性が高い。(一部では著作権がない、取り除くことで同一性保持の侵害になる可能性がある。)

A1①

営利目的でない教育機関において、補償金を支払う代わりに著作物を公衆送信(インターネット送信)できることを定めた制度